

平成28年12月6日（火）

## 特別支援教育に関する研究 第4回

12月27日（火）に予定されている、茨城県教育研修センターの研究発表会に向けた研究協議会が行われました。特別支援教育課では「特別な教育的ニーズのある児童生徒の理解と支援の在り方」をテーマに、保護者との合意形成に基づく合理的配慮の実施に関して、筑波大学の岡崎慎治先生を講師にお招きして、8名の研究協力員の先生方と一緒に研究成果を発表します。

この日は、研究発表会前最後の研究協議会でした。

午前中は、全体会の打ち合わせとリハーサルを行いました。全体会では「解説型フォーラム」によって研究成果を発表する予定ですが、研究協力員の先生方のチームワークが発揮された、熱のこもったリハーサルになりました。

午後には、分科会の打ち合わせを行いました。分科会では「保護者との合意形成」に焦点を当てて、合意形成のプロセスを校種毎の事例に則して、詳しく発表する予定です。参加される方にとって分かりやすい発表が行えるよう、和やかな雰囲気の中にも緊張感をもちながら、発表の練習や内容の調整が行われました。

お陰様で特別支援教育課の発表については、およそ200人から参加申し込みをいただきました。「参加してよかった」と思っていただけのように、最後の仕上げに取り組みたいと思います。

